

舞台の見方が変わる!?

劇場スタッフの素顔に出会うツアー

東京芸術劇場バックステージツアーVol.4
「劇場のお仕事 プレイハウス編」

一般の方々はふだん見ることができない舞台裏を見学するバックステージツアー。

2013年に続き2014年も、プレイハウスで行われました。

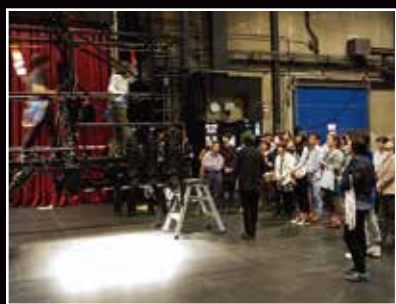
建物や機材も珍しいけれど、劇場ではどんな人がどんな仕事をしているのでしょうか？

大好評のバックステージツアーのレポートです。



公演の日は、たくさんの観客で埋めつくされているプレイハウスの客席。今日はツアーに参加する限定30名の貸しきりです。いつもより静かな劇場は、独特の雰囲気を感じています。

ツアーのはじまりは、技術スタッフが総力を挙げておくる、舞台機構を使ったデモンストレーションです。音楽に合わせて、照明用、吊物用のバトンたちが自在に昇降し、美しい模様を描きます。舞台機構だけで、こんなに見ごたえのあるショーができるなんて驚き！



舞台上で、降下させた照明用ブリッジに、作業用ハーネスを装着して乗り込む参加者。

次はいよいよ舞台へ。舞台上へ上がると、客席が見渡せます。俳優やダンサーさんからはこんな風に見えるんですね。舞台袖には、モニターとボタンがずらり並んでいて、スタッフ自ら、各設備の働きを説明します。照明を吊る「ブリッジ」に乗りこむ体験も。高所での作業が多いので、照明スタッフは命綱のハーネス(安全ベルト)をつけて作業します。まさに真剣勝負の現場をかいま見た気分。

次は楽屋を見学。公演に出演するあのひと、このひと、みんなこんな楽屋を使っていたんだ！ ドキドキします。

音響、照明オペレーション室の大きな調整卓にも驚きの声。機材に触って見ます。照明機材のピンスポット操作って難しい！ スタッフと直接言葉を交わすのも新鮮です。裏方さんって、とても親切なんですね。



客席後ろの<投映室>で、ピンスポットの操作について説明を受ける参加者。

その後ロビーでは場内案内の仕事について、レセプション(受付・案内係)が説明します。チケットをもぎるわずかな時間で、演目や開演時間を確認したり、遅れてきたお客様を静かに案内したりと、プロの技が光ります。

舞台セットの搬入口を見学したら、次はなんと舞台の「奈落」へ。舞台下には大きな「奈落」と呼ばれる地下空間があり、舞台の一部を切り抜いた、「迫り」と呼ばれる、舞台セットや人が昇降できるような舞台昇降装置が設置されています。まさに舞台の「秘境」！ 迫りに乗りこんだら、ツアーのハイライトです。出演者気分、徐々に舞台へとセリ上がっていきます。舞台に到着したら、まばゆい照明と大きな歓声！ まるでスターになったような気持ちに！

劇場の裏側を巡って、専門スタッフたちから説明を受け、バックステージを体感する2時間。次に公演を観るときは、舞台裏で活躍するスタッフにも思いを馳せそうです。

【実施日】2014年10月19日(日)11時～13時 / 15時～17時 *2回開催 【会場】プレイハウス